

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年4月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104258
法人名	株式会社さくら会
事業所名	グループホームさくら
所在地	鹿児島市福山町958-1 (電話) 099-278-0550
自己評価作成日	平成23年2月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kagoshima-kaigonet.com/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=4670104258&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成23年3月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・施設の中や近くに農園、果樹園をもち、食に力を入れ、栄養士が食事(主菜・副菜)を作っています。
- ・おやつは、10時と15時になつかしい手作りの物を提供し、食事にはごはんと汁物の他に必ず3品以上を用い、栄養バランスを考えた食事の提供を行っています。
- ・何よりも利用者様を第一と考え、皆様に安心して楽しい生活を送って頂くため、誠心誠意、心をつくした支援に努めています。
- ・施設には、自家発電の設備を整備し、スプリンクラーも設置して防災、防火対策を強化しています。
- ・具合の悪い方については、専門の医療機関と連携を取り、内科、外科、歯科の往診があり、看護師も常勤しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・鹿児島市の郊外の田園地帯に同系列の小規模多機能型施設と隣接して建てられている事業所である。運営も一体的になされており、各種の行事の実施や緊急時の対応など、相互に連携・協力できる体制が整っている。敷地内の木々は手入れが行届き、日当たりも良く散策に適した環境である。
- ・経営者は、利用者の食事への楽しみをより充実したものにするために大きな関心を寄せている。栄養士を中心に、利用者の栄養管理に注意し、調理方法や盛り付け、おやつの手作りに日々工夫を重ねている。
- ・利用者及びご家族の希望や意向の把握にも十分な配慮を行い、医師との連携を密にして、緊急時には迅速に職員が付き添う体制を整えるなど、ご家族が安心できるように事業所で行える必要な支援の実現に努めている。
- ・利用者の安全確保のために、状況の変化に応じて利用者ごとに予測される危険を、工夫を凝らしたホーム独自の様式を基に数値評価し、介護計画の適切な見直しに反映されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念として「心」を掲げているが、定期ミーティング等でその都度、全員で共有し、利用者、家族と接する事が出来るようにしている。	地域密着型のサービスとしての理念「心 地域の方々にもやさしい心を持って接しましょう」を掲げて、地域との交流や人格の尊重・自立した生活の支援の実践に向けて取り組んでいる。職員とは、朝礼及び月2回の定期ミーティングで理念の共有を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	夏祭り等、地域住民への案内も積極的に行い、日常的な交流ができるよう取り組んでいる。オーナーが近所に住んでいる為、常に地域の方々とのお付き合いを密にしている。	利用者の昔馴染みの方々や地域の老人会「お達者クラブ」の方々が頻繁に訪問されており、日常的に地域の方々との交流は活発に行われている。定期的に地域の清掃や食事会に参加すると共に、施設の行事にも参加して頂き、親しく会話を交わしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症についての問い合わせ等、その都度説明をし、対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、入居者の状況、ホームの運営状況が報告され、それに対しての意見等、参加者全員で話し合い、ホーム運営に活かしている。	家族や民生委員、消防・警察・地域包括支援センターの職員等関係者が参加して定期的開催されている。事業所の現況報告や行事・問題点等について意見交換が行われ、感染症対策や交通安全対策の向上や食事改善など、具体的にサービス向上に反映されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日常的に地域包括支援センターと連携を取っており、情報交換を積極的に行い、サービスの質の向上に努めている。	福祉事務所及び地域包括支援センターの職員等が来訪し、協力関係の構築がなされると共に、行政や民生委員等にもホームの広報誌の配布が行われ、必要な情報交換や連携は図られている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期のミーティング等で、勉強会を行い、利用者の状態に応じた対策を検討している。その上で、家具や布団等に鈴をつける必要があれば、家族の同意を得た上で行うようにしている。	言葉による拘束の排除を含む身体拘束については、毎月の全体会で議論するとともに、研修も月2回実施され、十分な理解への取り組みとケアへの反映がなされている。ご家族とも意見交換を行い、安全を確保しながら利用者の自由な暮らしを支援するための工夫にも取り組んでいる。また、日中はホームの玄関等の施錠も行われていない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	一人ずつゆっくりと入浴していただいております。入浴介助時に皮膚の観察等を行い、スタッフ間での情報交換も徹底して、見過ごさないようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	出来るだけ研修に参加し、月2回のミーティングにて、研修者を中心に勉強会を実施している。その他研修等にオーナーが参加し、ミーティング時に職員との情報の共有を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	解約については、急変に基づいたものが主となる為、医療機関と連携し、密な情報交換をすることで家族との検討を進め、理解に繋げている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱を設置し、家族からの日常的な提案や要望に対しては、代表者が直接対応し、経過を日報等に記録して運営に反映させている。 また、毎日報告を密に行い、重要事項又は緊急事項に関しては即決している。	利用者の思いや意見を表情や所作の見守りなどで把握するように努め、ご家族とは訪問時や電話で会話を交わして要望や意見を受け、ミーティングを通じて全職員が内容を共有して、ケアに迅速かつ具体的に反映できるように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的に行われるミーティングで職員からの意見や提案があれば、検討の上、運営に反映している。 代表者は、毎日9時と2時にバイタルチェックの報告を受け、同時に職員の声に耳を傾けて運営に反映している。	代表者は、月2回の定期ミーティング及び現場主任との毎日数回の電話連絡を通じて職員の意見や提案を聞き取り、業務改善及び利用者へのサービス向上の実現につなげるように取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は、現場で起きている様々な状況や変化を出来るだけ把握し、職員が疲れやストレスを溜めこまないように配慮し、職員が向上心を持って働けるような環境作りに努めている。1ヶ月に1回を目標に職員全体の食事会を開催している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の各段階に応じ、必要な研修については参加を勧め、その内容について園内ミーティングにて職員全員が共有している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣のグループホームとの交流を持ち、運営状況についての相談・連絡を行うことにより、サービスの質の向上を目指している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期面談では本人の生活レベル、ライフスタイルを十分把握するように努め、本人との関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の希望、方向性等、家族が何を求めているのかを把握し、不安があればできる限りその不安を軽減できるように調整し、対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	身体状況、生活状況を把握し、必要があれば医療機関等、その他の機関との調整を行う。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の性格、今まで過ごしてきた過程を尊重し、本人のペースに合わせ、訴えを傾聴し、時間をかけて関係作りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の生活状況、身体状況等を報告し、また、家族の思いや意向も取り入れながら、本人と一緒に支えていくように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が、これまで大切にしてきた経験、馴染みの人や場所等との関係が途切れないように支援している。	ご家族が利用者の馴染みの友人・知人と来訪される際には、ゆっくりとくつろげるように可能な支援を行っている。また、併設の小規模多機能ホームも馴染みの方が多く利用されているので、それらの方々との合同の誕生会開催などの交流も支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士のトラブル発生時等、職員が間に入り、調整を行うようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院時等、定期的に家族と連携を取り、必要があれば他機関との調整を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人との会話、家族等からの情報収集により、思いや意向の把握に努めている。	利用者の所作観察や声掛けにより思いや希望をくみ取るように努め、ミーティング等で情報を共有し、意見交換して利用者本位の対応を検討している。ご家族とも面会時に、サマリーの記録を基に密に話を交わして希望・意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初期面談、アセスメントの中で情報収集し、スタッフ間で共有している。主任等が、まめに家族と連絡を取り合い、情報収集している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者それぞれの能力に応じ、本人のペースで出来る事をひとつずつ援助していく。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期のミーティング時に、利用者それぞれの評価を行い、3ヶ月毎に介護計画の見直しを行っている。また、必要があればその都度、計画の見直しを行っている。	介護計画は、日報及びミーティングで利用者の状態を職員で共有し、利用者本位のものを作成している。状況の変化に応じて利用者ごとに予測される危険を、工夫を凝らしたホーム独自の様式を基に数値評価し、適切に見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録の中で状態に変化があれば、その都度ミーティング内で話し合い、計画に反映している。 代表者と相談し、急を要するような場合には、適宜、個人に合ったケアを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	それぞれの環境、状態に応じて、職員全員が情報を共有し、その都度最善のケアを提供できるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	各種行事では、各関係者への協力を依頼している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望により、かかりつけ医による適切な医療が受けられるように支援している。 また、専門の医療機関との連携も行っている。	利用前の受診状況の十分な把握により、本人や家族の希望するかかりつけ医の月2回の訪問診療を支援している。利用者の変化にも早期に対応可能なように、家族や医師との情報交換も密に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員により、利用者の状態を常に把握し、状態の変化に応じた支援を行っている。また、必要に応じて代表者が顧問医師等に電話連絡を取り、指導をもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	必要に応じ情報を共有し、情報提供を行い、医療機関との関係を密にしている。また、代表者が顧問医師等に電話連絡を取り、指導をもらっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にホームで行える最大限のこと説明し、状態変化の都度、家族やかかりつけ医と検討し、方針を共有して支援を行っている。	重度化や終末期のケアについては、入居時には「重度化及び看取りに関する指針」を基に、本人やご家族に十分に説明し、様々な変化の都度十分に話し合い、その意向を最大限大切にしている。医師との連携を密にして、緊急時には迅速に職員が付き添う体制を整えるなど、事業所で行える必要な支援を実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期のミーティングで勉強会を行い、普段から職員間で共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、火災を想定した避難訓練を実施している。また、自家発電を整備しており、地震や水害時には地域住民に対し、ホームを開放し、寝泊りできる環境を提供している。	消防署との連携により年2回は火災を想定した避難訓練を、隣接の小規模多機能ホームと共に実施し、実施後は職員で反省点について協議している。災害時に備え自家発電機及びスプリンクラーなどの設備の充実にも取り組んでいる。食料や飲料水の備蓄も問題はなく、災害時には地域の住民への施設提供も可能な状況である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛け時等、低姿勢での対応を心掛け、敬意を持って接している。カルテ等は、他者の目につきにくい場所に保管し、個人情報の取り扱いも適切に行っている。	利用者の尊厳と権利を守るため、利用者の誇りやプライバシー確保に十分配慮した声掛けや言葉遣いを心掛け、個人記録等の管理や居室の保護にも徹底した対応を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が、自分の思いを自然に言葉で表せるよう努めているが、難しい方については、こちらから声掛けし、本人の思いを引き出すように心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者それぞれの人生経験を尊重し、生活歴、環境も含めたその人らしさを検討した支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	散髪等、外出が困難な方については、定期的に業者に依頼し、来園して頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士によりバランスの良い献立を作成し、必要に応じて刻みやミキサー食等を提供している。また、出来る限り自分で摂取できるようにスプーンも握りやすい物にするなど工夫している。	栄養管理を大切にして、新鮮な食材利用による調理方法や盛り付けなど、利用者の楽しみにつながる工夫をしている。職員と同じテーブルを囲み、会話しながら和やかに食事できるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの体調と摂取量を把握し、栄養士による栄養バランスを考慮した食事を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い、就寝時は義歯をはずして洗浄、消毒を行い、清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	チェック表を参考に、入居者それぞれの排泄状況を把握した上で、時間誘導や声かけを行うなど自立に向けた支援を行っている。	利用者の様子観察や排泄チェック表を活用し、利用者個々のリズムを把握して、誘導や声掛けを通じて排泄の自立のための支援を行っている。職員はミーティングで、利用者個々に合った取り組みの方針を話し合い、支援に反映するように努めている。カーテンの活用など、羞恥心や不安の軽減にも十分配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防の為に食事やおやつに入れる食材にも工夫している。特に、繊維物の多く含まれる芋、バナナをうまく使用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には週3回の入浴を確保しているが、必要に応じて時間や回数、入浴順番等について配慮し、入浴を楽しむことができるように支援している。	ご家族からも情報収集し、利用者の健康状態や体調を考慮して、基本的には週3回一人ずつ入浴してもらっている。また、入浴の時間帯や順番にも、可能な限り希望に添うように努めている。入浴を拒否されるような場合には、時間をかけてゆっくり話を交わすなどの対応を心掛けると共に、ミーティングでも利用者本位の支援を検討している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	それぞれの状態に応じ、その都度休むようにしてもらい、出来る限り安心して気持ち良く眠れる事が出来るように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期のミーティングにおいて、それぞれスタッフ間で共有し、また、服薬状況をいつでも見れるようにしている。 施設毎に個人の薬状を必ず置いている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれの生活歴、趣味に合わせた支援（読書や歌等）を行い、日々意欲的に過ごしてもらうように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日等、出来る限り外に出られる人は中庭や敷地内の散歩をスタッフの介助の下、楽しんでもらっている。	敷地内の日当たりの良い庭は、自由に散策できる環境であり、天気の良い日は可能な限り散歩の支援に努めている。桜のシーズンにはあずま屋での花見も行われ、年に2、3回は運動公園などへの遠出も行われている。ご家族の協力を得て、墓参りや法事、ドライブに出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>認知症もあり自己管理が難しい為、預り金としてホームで管理し、出納帳をそれぞれ作成し、家族にも確認してもらっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>発語が困難な方もおり、電話での対応には無理があるが、手紙等については家族の承諾の下、スタッフが代読する場合もある。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内にはソファや掘りゴタツ等が設置されており、自由に居心地よく過ごせる場所が確保されている。</p>	<p>共用空間は明るく、室温や湿度の調節にも配慮している。畳のスペース、大きめのソファ・掘りごたつなどの設置、有線放送の音楽が流れ、季節の花飾りなども見られ、自由に、そして気持ちよくくつろげるような環境づくりをしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングにもソファを設置し、談話室も開放的に使い、思い思いの場所で生活できるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が慣れ親しんだ物を持ち込んだり、一人ひとりの状況に合わせて家具等を配置するなど、居心地と安全性を両立させながら生活できるように支援している。</p>	<p>居室のベッドや家具は事業所が準備したものであるが、向きや配置は利用者やご家族の希望に沿って居心地よく過ごせるように対応している。枕や日用品は、本人やご家族の希望のものを自由に持ちこんでもらっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレ位置の張り紙を車椅子の方の目線に合わせるなど、利用者の視点に立ち、本人の不安や混乱材料を取り除いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	勉強や定期ミーティングで「心」について話し、利用のみならず地域の方々に対し、どんな心遣いで接するのか意識付けしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の会合や清掃活動に参加し、近隣の方々から野菜を頂いたり、畑を手伝って頂いている。夏祭り等の行事の際は余興にも参加して頂き、交流を図っている。オーナーが近所に住んでいる為、常に皆様と密にお付き合いしている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	随時、地域の方々からの認知症の相談を受けている。 運営推進会議で「認知症」について理解を深めて頂き、地域の高齢者の方々の暮らしに役立つ様に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、利用者の状況、行事実施報告、行事予定などが報告され、参加者の意見交換を行っている。また、頂いた意見は、皆で検討し、現場に生かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日常的に地域包括支援センターを連携を取っており、情報交換を積極的に行い、サービスの質の向上に努めている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	園内定期ミーティングにてリスクマネジメントを含めた安全対策会議を実施している。各専門職がお互いに意見を出し合い、必要があればかかりつけ医とも相談し、利用者に対してどういったケアが必要なのか話し合っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常に職員同士で連携を取りながら、利用者の観察に努めている。身体介護（入浴・排泄等）を中心に観察し、小さな変化も出来るだけ見過ごさない様に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	できるだけ研修に参加し、定期ミーティングで研修者を中心に勉強会を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	解約については、急変に基づいたものが主となる為、医療機関と連携し、密な情報交換をする事で家族との検討を進め、理解に繋げている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族の意見が多く聞けるようにホーム内に意見箱を設置している。また、担当者会議や面会などでは常にホーム側から声掛けするようにし、家族等が意見を言いやすい環境を作るよう努めている。毎日報告を密に行い、重要事項又は緊急事項に関しては即決している。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期ミーティングでは、各職員からの意見や提案を全員で検討する場を設けており、運営に取り入れている。 代表者は、毎日9時と2時にバイタルチェックの報告を受け、同時に職員の声に耳を傾けて運営に反映している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は、現場で起きている様々な状況や変化を出来るだけ把握し、職員が疲れやストレスを溜めこまないように配慮し、職員が向上心を持って働けるような環境作りに努めている。1ヶ月に1回を目標に職員全体の食事会を開催している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の各段階に応じ、必要な研修については参加を勧め、その内容について園内ミーティングにて職員全員が共有している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣のグループホームとの交流を持ち、運営状況についての相談・連絡を行うことにより、サービスの質の向上を目指している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期面談で本人の生活水準を出来るだけ把握するように努め、傾聴の姿勢を大切に、本人との関係作りに努めている。また、ご家族にも情報提供の協力をお願いしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が何を求めているのかを理解し、利用者本人のニーズとも照らし合わせながら、どのような対応が良いのかを事前に話し合っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の思いや状況などを把握し、早急な対応を要する際は、医療機関などとの連携を取り、調整を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来るだけ本人の今までの生活してきたペースに合わせ、本人の意見や訴えに対しては、時間をかけて耳を傾けるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の日常生活や変化を出来るだけ細かく報告し、ご家族の思いや意見を取り入れ、本人と一緒に支えていく為の協力関係を築けるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会制限とならぬ様、本人との関係を面会票を利用して把握に努めている。お盆やお正月の里帰り、法事等、家族の協力を頂いて関係が途切れない様に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々の心身状況や感情でもお互いの対応の仕方が変化する可能性がある為、職員は常に注意深く観察し、利用者同士の関係がうまくいくように調整役となっている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	特に入院加療となった方へは、定期的に家族と連絡を取り合い、訪問やモニタリングを実施している。また、相談内容に応じて紹介や調整を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の暮らしの中で、出来るだけ多くコミュニケーションを取る様に努め、その中で利用者の意向や希望を感じ取り、本人にとって最適な生活に近付けるように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初期アセスメントの中で記録化し、スタッフ間で共有している。主任等が、まめに家族と連絡を取り合い、情報収集している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの少しの変化を出来るだけ注意深く観察し、本人のペースを尊重しながら援助している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にサービス担当者会議を実施し、各専門職や家族が様々な意見を出し合い、本人にとってより良い生活に近付けるよう計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録として24時間モニタリングを行い、変化した所は、ミーティング等で検討し、計画に活かしている。 代表者と相談し、急を要するような場合には、適宜、個人に合ったケアを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者や家族の日々変化する状況に応じて、職員全員がその変化を共有し、その時々で最善のケアを提供できるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者のプライバシーに配慮しながら、ボランティアや学生の慰問を積極的に受け入れ、年間行事では各関係者へ協力を依頼している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	早期での心身変化に対応できるよう、かかりつけ医との情報交換を密に行い、往診体制などの協力を依頼している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置し、常に利用者の健康状態や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。 また、必要に応じて代表者が顧問医師等に電話連絡を取り、指導をもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は、出来るだけ本人の混乱を避けられるよう、医療機関との情報交換を行い、なるべく早期に退院できるように努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族の意向を大切にし、本人にとってどうあるべきかを話し合い、医療機関とも連携を取り、お互いにとって納得できる最後が迎えられよう取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	園内ミーティングにて、急変時での応急手当に関する勉強会を実施しており、日常的にも看護師により他職員に指導している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練、火災訓練を実施し、消火器位置や避難経路確保等の設備点検も行い、緊急連絡網を作成している。自家発電を整備しており、地震や水害時には地域住民に対し、ホームを開放し、寝泊りできる環境を提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に低姿勢（利用者と目線を合わせる）での会話を指導しており、利用者に対して敬意を持って話しかけるように努めている。排泄や居室への訪室にも細心の注意を払っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が安心できる雰囲気作りを目指し、利用者が自分の思いや希望を自然に表現出来るような信頼関係作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人のペースを尊重し、今まで生きてこられた環境も考慮しながら、本人の意欲や希望に沿った支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	2ヶ月毎での訪問散髪を実施し、服装、洗顔、整髪、爪切りなどの身だしなみには常に気を配るように努めている。好みの化粧品等を持参の方もいるので、使用を勧めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル拭きやお膳拭き等をお願いしている。 職員も同じテーブルで食事をして、会話を交わしながら、楽しい雰囲気作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バイタル表に食事と水分摂取量を記入し、把握している。 水分摂取に消極的な方には、好みの物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、洗面所へ誘導を行っている。 一人ひとりの状態に応じ、声かけや見守り、一部介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間でトイレの声かけや誘導を行い、失敗の回数を減らすように努め、一人ひとりに合わせた下着やリハパン、尿取パットを使用している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維の多い食材を使用し、おやつ時や毎食時に水分の大切さを話し、摂取をお願いしている。 食前、ラジオ体操や軽体操を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりに合わせた入浴時間や、状態を把握した上で入浴している。本人の着たい物を、話しながら選んでいる。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの入床前のパターンを把握し、入眠しやすい環境を整えている。夜間にお茶や水を希望される方には、ペットボトルに入れてお渡ししている。日中なるべく体を動かして頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの処方箋のコピーをファイルし、内容を全員が把握している。誤薬防止の為、本人の名前、日付、朝・昼・夕を記入し、配薬の際に読み上げながら、確実に服用されたか確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	理解度や実行性を把握し、お願い出来る作業を個々に応じて行って頂いている。また、やり終えた作業後に必ず感謝の気持ちを伝えている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	家族の協力も頂いて、買い物や墓参り、知人宅へのお茶飲み等に出かけている。本人の希望があれば、家族へ連絡し、その旨を伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>認知度や習慣等を考慮し、家族同意の下、少額の金銭を持っている方もおられる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望があればかけている。手紙を頂いても読めない方には、代読して差し上げている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>採光は、ブラインドで調整している。玄関や受付、洗面所には季節の花を飾り、四季を感じて頂いている。トイレには、西日対策とプライバシー保護の為、すだれを用いている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関、リビングにはソファを置き、思い思いに過ごして頂いている。和室となっている談話室には、掘りゴタツ、ソファがあり、一人ひとりが望む場所で過ごせる。また、テラスから外へ出る事もできる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	寝具や時計、写真、アルバム等を持ちこんで頂き、本人の心地よい環境で過ごして頂いている。 本人のペースで片付けて頂き、手を加えないようにしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な箇所には手摺が設置してある。 認知度の低い方の為に、目線の高さにトイレの表示をしている。 通路は、歩行や移動、活動の妨げにならないよう、障害物を除いている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない